

成城教育

第183号

2019年3月30日

特集 成城映画鑑賞会の歩み



成城学園教育研究所

折り紙は普段から馴染みがあり、子どもの大好きな遊びです。自由遊びでクラスの子どもが三角に折ったもの、長四角に折ったものを組み合わせ、それにちゅうりつぷの形に折ったものを逆さまに組み合わせ、炎にしたロケットを見せてくれました。炎の部分は大人は先入観で、つい、ちゅうりつぷに見えてしましますが、それを逆さまにして、炎にするのは子どもならではの豊かな発想です。そのロケットを黒の画用紙に貼り宇宙を作りました。このように自由遊びでの子どもの作品をヒントに学年の活動とし、年中組全員で宇宙を作りました。

折り紙は部品毎に違う色を四色、自分の好きな色を選びました。ロケットを作る話をする子どもたちは大喜びで、楽しみながら色や三角の向きを工夫し折って組み合わせていきました。組み合わせ、形が出来上がると裏からセロテープで止めましたが、この作業は四歳児には少し難しかったようで表から貼ってしまう姿もありました。

ロケットが出来たところで後日、ミューズコットンという紙（表面に簧「す」の目というでこぼこがあり風合い良く仕上げられている紙）に貼り、コンテパステルという画材（粉末の顔料を固めたもの）を使い宇宙の星を皆で描く共同画をしました。コンテパステルはクレヨンと違い、油分が少なく粉っぽい特徴があります。また形状が直方体なことから、面を使いミューズコットンにこするように描きました。描いた後、さらに手でこすると色のグラデーションも表現されて、クレヨンとは違うなんとも言えない風合いが表現できました。絵本や写真を参考にして、太陽、地球、火星、水星、木星、土星などの色や形を観察しながら宇宙空間に星を散りばめていきました。

宇宙の空間を様々な方向に飛ぶロケットはまるで子どもたちが未来に向かって進んで行くように感じられ、皆の力が合わさり出来上がった素敵な作品となりました。

成城教育

第 183 号

©成城学園教育研究所

◆表紙：幼稚園年中組全員

「表紙」のことは 宇田直美

口絵グラビア 成城映画鑑賞会 歴代の開催告知プリントより

カット 飯田健二

■特集 成城映画鑑賞会の歩み

一つの思い出	若菜伊奈緒	5
私の成城映画鑑賞会	竹下昌之	8
成城映画鑑賞会関連資料の紹介	池田浩貴	12
映画鑑賞会について	佐々木 啓	16
成城映画鑑賞会の思い出	篠田達也	18
映画鑑賞会を振り返ると	橋本正裕	19
映画鑑賞会雑感	安田靖子	23
スクリーンの裏側	山田裕紀子	26
映画鑑賞会（二〇〇九年度懐古譚）	高嶋和子	28
〈自由〉をしなやかな思想に変えて	深作健太	32
成城映画鑑賞会の記録		36



特別座談会 二つの「成城」―誕生と独立、そして改革―

42

広告

一〇〇周年記念写真集『学校と街の風景―成城学園の一〇〇年―』
刊行のご案内

74

《大学研究室から》 現代社会の変化と法律学のチャレンジ	町村泰貴	75
《ずいひつ》 肘掛けから考える人間行動心理	新井 学	84
《ずいひつ》 吹奏楽活動から得たもの	堂野真由	88

この人に聞く成城の話 第十四回

子どもたちを笑顔に 立木和彦 93

経済学科における理系教育強化のための初年度教育の改善事例

―二〇一三年から二〇一八年における「データ解析入門」の変更点とその成果―

河口洋行 96

連載コラム

成城人物誌

山崎匡輔 その4

岩見寿子 119

ブックレビュー

岩見寿子 宮地裕美子 前村敦著 論創社 二〇一八年

『映画で語るアイルランド』

横塚祥隆

120

『成城教育』バックナンバーを読んで

一度でいいから読んでみたい テーマを持たない『成城教育』

鈴木勇一

123

第一八二号 特集『成城の「食」を語る』を読んで

垣浪百合子

126

第一四九号「特集 成城の造形美術教育」を読んで

岩佐光晴

128

教育研究所報

三階に家なし 其十五 | 選ぶことと強いられること

宮崎修多

131

教育研究所への階段

足立友子

134

編集後記

136